



宗像の美しい海を後世に引き継ぐ、海の道むなかた館・企画展  
「漂着物から学ぶアジアの文化・環境展」を開催

世界遺産ガイダンス施設・海の道むなかた館で、漂着物や貝殻を通じて海の現状や課題、環境保全の大切さを発信する企画展「漂着物から学ぶアジアの文化・環境展」を開催します。

漂着物は単なるゴミではなく、私たちにさまざまなメッセージを伝えてくれます。

今回の展示は、全体の漂着物からするとほんの一部ですが、漂着物の代表と捉え、私たち現代人に何を訴えているのかを読み解いていただき、SDGsの目標に向けた取り組みを実践していけるよう海の環境問題や生物多様性に対する一人ひとりの意識が高まることを期待しています。

九州大学テクニカルスタッフの「木下英生コレクション」のユニークな漂着物資料や「九州大学と連携した海の環境調査の成果」とともに玄界灘海域に分布する貝の標本「花田英司コレクション」の3つの展示資料などを通じて、宗像の海の状況や漂着ゴミが永遠に残り続けるという現状を伝えます。

■海の道むなかた館・夏の企画展

名称 漂着物から学ぶアジアの文化・環境展 ―宗像の美しい海を後世に残すもの―

期間 令和6年7月2日(火)から9月1日(日)

場所 海の道むなかた館 特別展示室・体験学習室

主催 宗像市と九州大学による協働開催

内容 玄界灘沿岸に漂着した漂着物を中心にアジアの文化と海の環境について考える展示。

【人工物編】海流に乗って運ばれる国際色豊かな漂着物の紹介や一見するとゴミとして捨てられる漂着物も貴重な資料となりうることを紹介。

【自然物編】宗像地域の海岸で拾われた貝の紹介から種別の見分け方を紹介、研究資料としての動植物の紹介。さらにブルーカーボンの取り組みや貝殻を使った工芸品を紹介。

※入館無料

■関連イベント「新聞ばっぐワークショップ」

日時 令和6年7月21日(日) 10:00~12:00

場所 海の道むなかた館 講義室

定員 先着20人(要事前申込。小学生以下は保護者同伴。参加費無料)

内容 市広報紙7月号の企画展特集面を原材料に、環境にやさしい「新聞ばっぐ」を作成。企画展の特別解説も実施。



【問合せ先】

宗像市 世界遺産課 岡 TEL:0940-62-2600